

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社  
 コード番号 3313 URL http://www.bookoff.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 佐藤 弘志  
 (氏名) 松下 展千

TEL 042-750-8588

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	42,837	—	1,127	—	1,263	—	377	—
20年3月期第3四半期	37,121	9.6	1,131	△50.4	1,284	△45.9	231	△81.0

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	21.18	21.16
20年3月期第3四半期	12.68	12.62

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	35,201	—	11,133	—	31.2	—	616.94	—
20年3月期	28,824	—	11,098	—	38.0	—	615.48	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,983百万円 20年3月期 10,950百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	18.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	19.8	2,400	1.2	2,600	1.1	950	△9.1	53.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 1社(社名 株式会社ワイシーシー) 除外 1社(社名 )  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 19,349,200株 20年3月期 19,337,200株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,546,058株 20年3月期 1,546,000株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 17,800,108株 20年3月期第3四半期 18,286,509株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会社基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース事業」に特化し、書籍やCD、洋服やスポーツ用品、子供用品など様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活を実現するためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』=『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々な形のリユース事業を通して循環型社会の実現に取り組んでまいります。

当第3四半期連結会計期間のグループ直営店舗の出店は、BOOKOFF 5店舗、キッズ・婦人服事業1店舗、その他事業14店舗となりました。その他事業増加14店舗のうち、連結子会社化した青山ブックセンター株式会社の12店舗（青山ブックセンター及び流水書房）が含まれております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高42,837百万円（前年同期比15.4%増）営業利益1,127百万円（前年同期比0.3%減）経常利益1,263百万円（前年同期比1.6%減）となりました。売上が前年同期比で大幅に伸びた要因は、大型店の出店及び既存店の好調による売上の増加に加え、平成20年9月30日付で新規連結子会社となった株式会社ワイシーシーの2,200百万円が加算されたことによるものです。営業利益、経常利益はほぼ前年並みとなりました。

売上の伸びに反し経常利益がほぼ前年並となった要因は、主力であるブックオフ事業の商品構成比の変化（粗利益の低いゲーム商品の販売構成比増）と、新規連結子会社の収益構造により、粗利率が低下したことによるものです。

しかしながら粗利率の変化に関しては、新規事業への参入や、顧客のニーズに応じた商品構成比の変化で連結及び単体の収益構造が変わったことによるものであり、今後は売上を伸ばす一方で、売上総利益に対して変動費をコントロールすることで、利益成長を確実なものにしていく考えです。

第3四半期連結会計期間の経常利益前年比は大きく改善し、768百万円（前第3四半期連結会計期間経常利益額25百万円）となりました。第2四半期連結累計期間末で遅れていた前期比は、第3四半期連結累計期間末で前年並みとなりました。なお、前年同期比は参考として追記しております。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

## （ブックオフ事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高32,547百万円（前期比7.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、都市型大型店2店舗、中古劇場内3店舗を含め、グループ直営店15店舗、FC加盟店26店舗となりました。（閉店はグループ直営店8店舗、FC加盟店18店舗）

ゲームソフト商材の買取を積極的に伸ばし、販売陳列なども改善したことにより、前期からゲームソフトやゲーム本体機の売上を大きく伸ばし、既存店売上に牽引しておりました。今期は更に、客数増をテーマとして掲げておりました。まず今期に先行指標ともいえる仕入れが前年を大きく上回ったことから商品が充実したことにより8月以降客数がプラスへと転じました。客単価の上昇に、客数も上昇したことから、これらの結果第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は4.7%増と好調な結果となりました。

## （キッズ・婦人服事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高2,772百万円（前期比3.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、「中古劇場」4館への出店を含めグループ直営店4店舗となりました。（閉店はグループ直営店7店舗）

店舗の効率運営を目的として、今期より、子供服等の「B・KIDS」をレディースラインとして「B・STYLE」に統合したことにより、「B・KIDS」5店舗が減少しました。店舗数は減少となりますが、売場面積はほぼ変更ありません。

売上は、昨年度売上が大きかった中古劇場大井町阪急館内の2店舗撤退による売上の減少は大きかったものの、それを上回る新店、既存店の売上により増収となりました。

## （TSUTAYA事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高4,001百万円（前期比234.3%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、連結子会社となった株式会社ワイシーシーを含め24店舗となりました。

売上は、平成20年9月30日付で増加したTSUTAYA等23店舗の業績が寄与したことで、前年同期を大きく上回りました。前年からの増加のうち株式会社ワイシーシーの売上2,200百万円が含まれております。

## （その他事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高3,515百万円（前期比15.4%）となりました。

「中古劇場」4館内の出店と、越谷レイクタウン、仙台泉パークタウン等の大型商業施設等への出店に加え、連結子会社となった青山ブックセンター株式会社の12店舗が増加しその他事業の出店は24店舗となりました。

青山ブックセンター株式会社の12店舗については決算月が2月であることから、売上等の業績の寄与は第4四半期連結会計期間以降となります。

出店が多い中で、新規業態である輸入古着店「BINGO」などの単価の高い業態の出店が続きました。加えて各業態の既存店売上も伸びたことから、増収となりました。

(セグメント別四半期実績)

(単位：百万円)

平成21年3月期	第1四半期 会計期間実績		第2四半期 会計期間実績		第3四半期 会計期間実績	
		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比
売上高	12,887	9.5%	13,627	7.0%	16,322	29.3%
ブックオフ事業	10,367	8.4%	11,188	5.4%	10,991	9.6%
キッズ・婦人服事業	891	0.7%	791	5.1%	1,089	5.4%
TSUTAYA事業	612	62.4%	599	40.0%	2,789	611.9%
その他事業	1,015	7.2%	1,049	11.7%	1,450	25.0%
営業利益	225	-56.6%	164	-75.5%	727	-%
経常利益	269	-50.0%	214	-70.0%	768	2,951.4%

※ 平成20年3月期セグメント別各四半期実績は監査を受けておりません。そのため平成21年3月期セグメント別各四半期実績の前年同期比率は参考値となります。

(セグメント別 出退店)

(単位：店)

		第1四半期		第2四半期		第3四半期		累計	
		出店	退店	出店	退店	出店	退店	出店	退店
ブックオフ事業	グループ	8	3	2	4	5	1	15	8
	FC加盟店	8	9	7	3	11	6	26	18
キッズ・婦人服事業	グループ	3	1	0	5	1	1	4	7
	FC加盟店	0	0	0	0	0	0	0	0
TSUTAYA事業	グループ	1	0	23	0	0	0	24	0
	FC加盟店	-	-	-	-	-	-	-	-
その他事業	グループ	7	4	3	0	14	0	24	4
	FC加盟店	0	0	0	0	0	0	0	0
出退店合計	グループ	19	8	28	9	20	2	67	19
	FC加盟店	8	9	7	3	11	6	26	18
期末店舗数	グループ	437		456		474			
	FC加盟店	613		617		622			

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①当第3四半期連結会計期間末における資産・負債・純資産の状況

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は18,225百万円(前連結会計年度末は14,541百万円)となり、3,683百万円増加しました。連結子会社化した株式会社ワイシーの商品(約1,300百万円)、連結子会社化した青山ブックセンター株式会社の商品(約500百万円)を含め、大型店舗出店による売場内商品やオンライン事業等の商品が2,483百万円増加したことが主な要因です。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は16,976百万円(前連結会計年度末は14,283百万円)となり、2,693百万円増加しました。新規出店に伴い有形固定資産と差入保証金(株式会社ワイシーを含む)をあわせて2,113百万円増加したことに加え、子会社譲受によるのれんの増加等、無形固定資産が813百万円増加したことなどが主な要因です。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は24,068百万円(前連結会計年度末は17,725百万円)となり、6,342百万円増加しました。M&Aにかかる費用約1,400百万円を借入金で対応したことに加え、連結子会社となった株式会社ワイシーの既存の借入金1,650百万円が増加しました。また、昨今の金融情勢に鑑み手元流動性を厚くしたことから、長短借入金が5,316百万円増加しました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は11,133百万円(前連結会計年度末は11,098百万円)となり、34百万円増加しました。四半期純利益計上による利益剰余金の増加が主な原因です。

純資産は増加したものの、連結子会社の資産等の増加から、自己資本比率は31.2%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ807百万円増加し、5,270百万円となりました。内訳としては、営業活動によるキャッシュ・フローは239百万円、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス2,075百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは2,627百万円でした。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は239百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益845百万円に加え、減価償却費の1,184百万円、新刊書店の仕入れも含め仕入債務の増加額633百万円、投資有価証券評価損266百万円を計上したことによる増加から、新規連結子会社2社等のたな卸資産増加額737百万円と法人税等の支払額1,602百万円を差し引いた結果等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,075百万円となりました。これは主に新店出店に伴う有形固定資産の取得403百万円及び保証金の差入699百万円に加え、子会社株式の取得にかかる支出1,115百万円等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,627百万円増加となりました。これは連結子会社2社取得のために長短借入金を増加させたことによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しては、平成20年7月31日に開示したとおり、投資有価証券の特別損失の計上により、当期純利益のみ修正したものの、営業利益、経常利益については平成20年5月14日に開示した期首計画どおり変更はございません。

第4四半期の利益比重が大きい計画のため、今期経常利益計画2,600百万円達成に向けて、当第4四半期連結会計期間1,336百万円の利益確保が必要となりますが、前期第4四半期連結会計期間経常利益実績1,287百万円に加え、①主力であるブックオフ事業の既存店売上が好調なこと②オンライン事業の赤字が縮小すること③下期より連結子会社となった株式会社ワイシー及び青山ブックセンター株式会社の利益貢献が見込めること、等の理由により、通期業績の見通しは計画どおりとしております。

また、特別損失の計上により、期首計画より当期純利益の見通しは減少しましたが、配当金は据え置きし、1株当たり18円を実施する予定です。(配当性向33.7%)

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期連結累計期間において、平成20年9月30日付で、株式会社ワイシーシーの全株式を取得することにより、同社は当社の連結子会社となりました。

当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| ①名称     | 株式会社ワイシーシー                        |
| ②住所     | 埼玉県川越市脇田本町1番地7                    |
| ③代表者の氏名 | 代表取締役社長 松下 展千                     |
| ④資本金    | 266百万円                            |
| ⑤事業の内容  | 書籍・CD・DVD等の販売及びCD・DVD等のレンタルに係わる事業 |

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

以下の簡便な会計処理を適用しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更による損益及びセグメントに与える影響は軽微です。

③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更による損益及びセグメントに与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,390,852	4,759,941
受取手形及び売掛金	1,172,046	910,945
商品	8,912,962	6,429,961
その他	2,755,462	2,449,216
貸倒引当金	△5,768	△8,329
流動資産合計	18,225,555	14,541,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,027,550	4,584,620
その他（純額）	718,221	598,090
有形固定資産合計	5,745,771	5,182,710
無形固定資産		
のれん	1,097,648	—
その他	803,268	1,087,723
無形固定資産合計	1,900,917	1,087,723
投資その他の資産		
差入保証金	7,653,125	6,102,647
その他	1,735,703	1,965,076
貸倒引当金	△59,294	△55,140
投資その他の資産合計	9,329,533	8,012,582
固定資産合計	16,976,222	14,283,016
資産合計	35,201,778	28,824,751

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,702,051	602,950
短期借入金	9,243,900	3,820,000
1年内返済予定の長期借入金	2,488,031	2,311,672
未払法人税等	24,381	971,495
賞与引当金	120,375	357,005
店舗閉鎖損失引当金	24,163	43,800
その他	3,454,103	2,773,215
流動負債合計	17,057,006	10,880,139
固定負債		
長期借入金	4,822,790	5,106,719
負ののれん	281,571	—
その他	1,907,212	1,739,099
固定負債合計	7,011,573	6,845,818
負債合計	24,068,579	17,725,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,527,094	2,523,494
資本剰余金	2,720,883	2,717,283
利益剰余金	6,438,377	6,383,967
自己株式	△738,822	△738,778
株主資本合計	10,947,531	10,885,965
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,691	95,105
為替換算調整勘定	△47,785	△30,928
評価・換算差額等合計	35,905	64,177
少数株主持分	149,762	148,650
純資産合計	11,133,198	11,098,793
負債純資産合計	35,201,778	28,824,751

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	42,837,451
売上原価	16,750,542
売上総利益	26,086,909
販売費及び一般管理費	24,958,979
営業利益	1,127,929
営業外収益	
自動販売機等設置料収入	132,459
古紙等リサイクル収入	83,926
その他	147,216
営業外収益合計	363,602
営業外費用	
支払利息	156,999
持分法による投資損失	458
その他	70,758
営業外費用合計	228,216
経常利益	1,263,315
特別利益	
店舗譲渡益	3,615
固定資産売却益	1,095
特別利益合計	4,710
特別損失	
投資有価証券評価損	266,796
関係会社株式評価損	7,999
店舗閉鎖損失	76,257
店舗閉鎖損失引当金繰入額	9,090
固定資産除却損	52,022
固定資産売却損	149
減損損失	10,584
特別損失合計	422,901
税金等調整前四半期純利益	845,124
法人税、住民税及び事業税	207,114
法人税等還付税額	△91,331
法人税等調整額	349,150
法人税等合計	464,933
少数株主利益	3,111
四半期純利益	377,079

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	845,124
減価償却費	1,184,988
減損損失	10,584
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,592
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△311,917
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△34,709
支払利息	156,999
店舗譲渡益 (△は益)	△3,615
店舗閉鎖損失	76,257
固定資産売却損益 (△は益)	△946
固定資産除却損	52,022
持分法による投資損益 (△は益)	458
投資有価証券評価損益 (△は益)	266,796
関係会社株式評価損	7,999
売上債権の増減額 (△は増加)	△156,240
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△737,584
仕入債務の増減額 (△は減少)	633,971
未払金の増減額 (△は減少)	164,400
その他	△262,808
<b>小計</b>	<b>1,893,377</b>
利息及び配当金の受取額	13,143
利息の支払額	△155,834
法人税等の支払額	△1,602,370
法人税等の還付額	91,331
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>239,647</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△175,774
定期預金の払戻による収入	346,035
有形固定資産の取得による支出	△403,394
無形固定資産の取得による支出	△284,292
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,115,775
差入保証金の差入による支出	△699,234
差入保証金の回収による収入	387,855
事業譲受による支出	△237,000
その他	106,394
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,075,184</b>

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	11,650,000
短期借入金の返済による支出	△7,776,100
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,707,570
長期未払金の返済による支出	△724,002
株式の発行による収入	7,200
自己株式の取得による支出	△44
配当金の支払額	△320,241
少数株主への配当金の支払額	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,627,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	788,507
現金及び現金同等物の期首残高	4,463,073
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,270,270

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ブックオフ事業 (千円)	キッズ・婦人服事業 (千円)	TSUTAYA事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,547,454	2,772,916	4,001,352	3,515,728	42,837,451	—	42,837,451
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	3,737	3,737	△3,737	—
計	32,547,454	2,772,916	4,001,352	3,519,465	42,841,188	△3,737	42,837,451
営業利益 (△営業損失)	2,639,912	127,589	86,112	△89,737	2,763,876	△1,635,947	1,127,929

(注) 1. 事業区分は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) ブックオフ事業

中古書籍・中古CD（コンパクトディスク）等のリユースショップ「BOOKOFF」のチェーン展開

(2) キッズ・婦人服事業

玩具、子供服等の子供用品のリユースショップ「B・KIDS」及び婦人服のリユースショップ「B・STYLE」のチェーン展開等

(3) TSUTAYA事業

TSUTAYA加盟店として、ビデオレンタル、新刊書籍の仕入販売、CD・DVDの仕入販売等を行う店舗の運営。

※当社グループは、前連結会計期間まではTSUTAYA加盟店としてビデオレンタル店舗（前連結会計期間末：9店舗）のみを運営しており、その事業の内容を「ビデオレンタル事業」として開示してまいりましたが、当第1四半期連結会計期間より、神奈川県内のTSUTAYA加盟店1店舗にて、ビデオレンタルのほか、新刊書籍や新品CD・DVDの仕入販売等を行う店舗の運営も始めたことから、当セグメントの名称を、従前の「ビデオレンタル事業」から「TSUTAYA事業」に変更いたしました。

(4) その他事業

新刊書籍の販売を行う「青山ブックセンター」及び「流水書房」の店舗の運営、中古スポーツ用品のリユースショップ「B・SPORTS」店舗のチェーン展開等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
区分	金額(千円)	
I 売上高		37,121,545
II 売上原価		13,340,554
売上総利益		23,780,991
III 販売費及び一般管理費		22,649,148
営業利益		1,131,843
IV 営業外収益		
1. 持分法による投資利益	1,814	
2. 自動販売機等設置料収入	184,691	
3. その他	116,475	302,982
V 営業外費用		
1. 支払利息	116,929	
2. その他	33,677	150,607
経常利益		1,284,218
VI 特別利益		
1. 店舗譲渡益	18,840	
2. 売上割戻引当金戻入益	202,408	221,249
VII 特別損失		
1. 店舗の撤退に伴う損失	313,447	
2. 商品センター移転損失	24,988	
3. 固定資産除却損	113,499	
4. 投資有価証券評価損	5,386	
5. 投資有価証券清算損	2,096	
6. 店舗撤退損失引当金繰入額	53,388	
7. 減損損失	21,755	534,562
税金等調整前四半期純利益		970,904
法人税、住民税及び事業税	342,542	
法人税等調整額	383,317	725,859
少数株主利益		13,160
四半期純利益		231,883

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	970,904
減価償却費	973,868
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△721,720
賞与引当金の増減額(減少:△)	△223,685
貸倒引当金の増減額(減少:△)	2,682
店舗撤退損失引当金の増減額(減少:△)	53,388
支払利息	116,929
店舗譲渡益	△18,840
店舗の撤退に伴う損失	313,447
商品センター移転損失	24,988
固定資産除却損	113,499
減損損失	21,755
持分法による投資利益	△1,814
投資有価証券評価損	5,386
売上債権の増減額(増加:△)	△1,057,846
たな卸資産の増減額(増加:△)	△174,760
仕入債務の増減額(減少:△)	856,030
未払金の増減額(減少:△)	690,147
未払費用の増減額(減少:△)	138,821
その他	△213,989
小計	1,869,193
利息及び配当金の受取額	11,195
利息の支払額	△120,591
法人税等の支払額	△1,400,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,573
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入れによる支出	△428,072
定期預金の払戻による収入	336,967
有形固定資産取得による支出	△829,521
無形固定資産取得による支出	△620,571
投資有価証券の取得による支出	△339,996
関係会社株式の取得による支出	△408,050
貸付による支出	△93,000
差入保証金の増加による支出	△580,243
差入保証金の減少による収入	221,131
その他	△209,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,950,598

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	7,970,000
短期借入金の返済による支出	△5,590,200
長期借入れによる収入	2,360,000
長期借入金の返済による支出	△2,029,634
長期未払金の返済による支出	△667,660
株式の発行による収入	6,000
配当金の支払額	△219,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,829,130
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,657
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△768,550
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	3,843,008
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	3,074,457

## (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

（単位：千円）

	ブックオフ事業	キッズ・婦人服事業	TSUTAYA事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,204,230	2,672,722	1,196,916	3,047,676	37,121,545	—	37,121,545
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,664	—	—	42,849	59,514	(59,514)	—
計	30,220,895	2,672,722	1,196,916	3,090,525	37,181,059	(59,514)	37,121,545
営業費用	28,094,261	2,532,090	1,141,534	3,062,946	34,830,833	1,158,869	35,989,702
営業利益	2,126,633	140,632	55,381	27,579	2,350,226	(1,218,383)	1,131,843

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

該当事項はありません。